

特別支援 公開授業 指導案

〈授業者〉 國枝重喜	〈公開学級〉 1、3年D組	〈場所〉 2年学習室
------------	---------------	------------

1 単元名 見たい動物を英語で紹介しよう

2 単元について

D組の英語科では、水族館にいる動物の名前を英語で言う活動を通して、正しく聞き取って発音したり、動物の写真を見て英語で音声したり、単語を読んだりして、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の関連付けを行ってきた。水族館にいる動物の学習では、受付での職員と来館者の役割に分けて見たい動物を尋ねたり（What animal do you want to see?）、その動物たちがどこにいるか尋ねたり（Where are they?）する活動を行った。

この授業では、東山動植物園にいる動物で、自分が見てみたい動物についてスリーヒントクイズを出しながら紹介したり（This is my favorite animal. It is grey. ... Do you want to see koalas?）、相手に見たい動物を尋ねたり（What animal do you want to see?）、自分が見たい動物を理由をつけて伝えたり（I want to see lions. They are big and strong.）する活動を通して、自分の考えを自信をもって相手に伝える姿を目指したい。ただし、自分が見たい動物を英語で言うとき、仲間の知らない英語を使う必要が出てくる。その際、最小限の日本語を使って説明してもよいことにする。

英語科の学習目標との関連では、1目標「(3)話すこと[やり取り] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」と、「(4)話すこと[発表] イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」の、これら「話すこと」の両面をふまえて活動したい。授業の終末では、仲間の発表を聞いて自分が見たい動物を決める。自分が決めた園内見学計画を「スカイメニューのアプリ」にまとめる。見たい動物を自己決定し、ICTを活用することで自分の考えを深めたい。

3 研究に関わって

生徒の実態から、研究内容について以下のような指導・助言を考えた。

研究内容Ⅰ 主体的・対話的な追究活動の工夫

ウ：追究活動を深める資料・ICTの効果的な活用

どの生徒も好きな動物を理由を挙げて言うことができる。しかし、なんとなく好きであるとか、独特の色や走る(泳ぐ)スピードなど、思いつく代表的特徴を挙げるだけにとどまることが多い。そこで、ICTを使って動物の特徴を整理し、意見交流することで、仲間が新しく気付いた動物の特徴を付け加えたり、仲間の意見を聞いて別の紹介の仕方があることに気付いたりする機会を生み出すことができる。その上で、自分の考えた動物見学ツアーの決定版を作成する。見たい動物の写真にワードや英文を添えて説明することを通して、考えがより強く伝わる経験を積ませたい。

手立て① 「発表ノート」で自分の考えを示したあと、仲間の意見を聞いたり、用語集を使ったりして動物の特徴を詳しく説明できるようにする。

研究内容Ⅱ 自己肯定感の向上を促す終末の工夫

ア：基礎基本の定着を見届けるまとめや自己評価

一人一人が自分の見たい動物について英語で一生懸命伝えたと同時に、仲間と動物について考えを深められたという満足感を味わいたい。考えを深めた上で、自分が見たい動物を「発表ノート」にまとめる。見たい動物に新しい説明を加えたり、仲間の意見を参考にして好きな理由を膨らませたりする姿を作り出し、使えたワードや英語表現を振り返ることで自己肯定感を高められるようにする。

手立て② 仲間の意見を聞いて新しい特徴を付け加え、より深い見方ができたことを自己評価する。

4 本時のねらい (全体)

ツアーガイドになったつもりで、ヒントを出しながら自分が好きな動物を紹介したり、気に入ってもらえたか尋ねたりする活動を通して、より相手に伝わる言葉に変えることができる。

5 本時の展開 (8 / 10 時間)

		AH (1女)	YY (1女)	NK (3男)	YR (3男)	
本時の目標		発表ノートの写真や big, tall, long などのキーワードを分かりやすく配列して、意欲的に発表ノートの内容を工夫することができる。	学習意欲をもち、興味もてる動物の写真を選んだり、気に入った理由を日本語や単語 (cute など) で表示したりすることができる。	I want to see ... や It's ... の表現を用い、得意な発音を生かして繰り返し練習したり、英文で伝えたい内容を発表したりすることができる。	仲間の意見を聞いて考えを深め、自分の見たい動物に加えたり、見たい理由を英語で表現したりすることができる。 I want to see because ...	
学習活動		留意点				
		○：予想される反応 ※：支援 (手立て) ★：評価				
導入	1. 東山動物園にいる動物を、クイズを交えて英語で振り返る。 ・本時の課題を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒になじみのある動物を選び、特徴を英語で言う。 何を英語で言ったらよいか明確になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語で積極的に動物名を発音し、特徴をつぶやく。 緊張するから何度も練習しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて聞く。分かることには笑顔で反応する。 ※取り組みに移れるように、手順を1つずつ確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的につぶやいて仲間より先に答えようとする。 ○みんなの前では少し緊張するなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分かることには素早く反応して英語で発音する。 ○発表練習をがんばろう。
	自分の好きな動物をお互いに紹介し合って、相手により伝わるように工夫しよう。					
展開	2. 発表する内容を英語で練習する。 タブレットを見ながら紹介練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 個の課題に応じて、様子を見届けながら取り組みの姿を認め、次の課題を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ※自信をもって練習するよう励ます。 ※正しく言おうと何度も練習する姿勢を認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※見通しをもって練習に移れているか見届け、進んでいないときは、一つずつヒントを出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ※伝えたい内容の語を大きく発音するように助言する。 ※自分が好きなことをがんばって伝えるよう励ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ※声の大きさに気をつけることに加え、強く言うといい語を選ぶように促す。 ※一語一語途切れないように発音するよう助言する。
	3. スリーヒントクイズで自分の好きな動物を紹介する。 紹介後、気に入ってもらえたかや見たいと思ったかを尋ねる。	<ul style="list-style-type: none"> 声をはっきり話したり、伝えたい語を強調したりすることで、仲間に考えがよく伝わるようにする。 <p>【研究内容(1)ーウ】</p> <p>「発表ノート」で自分の考えを示したあと、仲間の意見を聞いたり、用語集を使ったりして動物の特徴を詳しく説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物を紹介する。 I like this animal. It's big. It's tall.. Its neck and legs are long.. 不安な単語の発音を質問して尋ねる。 ★正しく言おうとする姿勢を認める。 It's a giraffe. 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物を紹介する。 I like this animal. It's not big. It's brown. It's cute. ★仲間からの励ましの言葉を聞き、活動が進められるようにする。 It's a red panda. 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物を紹介する。 This is my favorite animal. What is it? Hint 1, ... Hint 2, ... Hint 3, ... The answer is ... Do you want to see ...? ★発音のなめらかさを評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物を紹介する。 I like this animal very much. It is [color]. It walks slowly. It has a long nose. What is it? ★練習により、はっきり言えるようになってきていることを励ます。
4. 各自、発表ノートに付け加えをし、ツアー計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 発表ノートの例を示し、完成への見通しがもてるようにする。 <p>【評価規準】</p> <p>一人一人が、仲間の意見を聞いてた上で、自分が見たい理由や新しい特徴を加えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表ノートの例を見て見やすいノートを作ってみよう。写真や特徴ワードを工夫して配列する。 ※特徴や伝える順を確かめるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなふうに写真を並べようかな。 ※写真を並べる場所を決めたか確かめ、手順を助言する。 ※言いたいことを日本語で確かめ、簡単な英単語を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物は選んだので、特徴を表す英語を確かめよう。 ※伝えたい内容を日本語で言ってみる。 ※簡単な英語を使い、少ない語数で伝えるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物の特徴を加えてみよう。 ※選んだ動物や付け足した説明は何か、確かめる。 	
終末	5. 活動の評価を行う。 各自、振り返りをする。	<p>【研究内容(2)ーア】</p> <p>仲間の意見を聞いて新しい特徴を付け加え、より深い見方ができたことを自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○I want to see ... を使って見たい動物が書けた。 仲間の意見を聞いて、たくさん付け加えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物の色 (white) や好きな食べ物 (carrots) の単語を動物の写真に付け加えることができた。最後までがんばれてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○I went to Higashiyama Zoo. I want to see ... again. 行った時のことを思い出して、「また見たい。」と言えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○I want to see because they are cute. 動物の特徴を付け加えて、見たい動物が言えた。